報知ボーイズリーグ

八幡南V

【中学】北九州支部予選
準決勝～決勝（18日・本城球場）

決勝の4回、適時打で追加点を挙げた八幡南・福田

「つなぐ攻撃」光る

八幡南は小技でつなぐ攻撃を貫き、春夏連続で全国切符をつかんだ。監督代行の古賀哲也コーチは「爆発力がない分、つないでいく」と指示。バントの精度の高さが光る一戦だった。

象徴的だったのは2点リードで迎えた4回だ。下位からの攻撃だったが、単打とバントなどで好機を広げ、1死一、三塁から9番・小辻翔太がスクイズを決めた。さらに2番・福田真心が「流れを切らさないように」と中前に運ぶなどして2点を奪い、試合を優位に展開した。

▼決勝
八幡南 101 300 015
小倉 000 000 011
【南】管、内木場、田中―長谷川
【小】林、梅山―九木田▽三塁打＝長谷川（南）

守りも堅く、失策はゼロ。特に三塁手・山本将太が軽快な動きを見せた。4回には1死一、二塁の場面で三塁ゴロを好捕し、二塁走者を三塁封殺。素早く一塁へ送球し、併殺でピンチを切り抜けた。「打撃よりも守備の方が得意。体を使って打球を止めることができた」と胸を張った。

▲▲決勝で堅守を見せた八幡南の三塁手・山本

合言葉「願えば叶う」

今春の全国大会は「21年春の8強」以上を目指したが、初戦で敗れた。ナインには「夏こそは」との思いが強く、春休みも休み返上。選手たちは夏の予選に向けて「願えば叶（かな）う」を合言葉に結束を強め、チームプレーに徹した。

ナインの〝願い〟は「日本一」の栄冠だ。春季全国大会1回戦では2回で降板したエース右腕・管太樹は「春のリベンジをしたい。長いイニングを投げられるように頑張りたい」と意気込んでいた。

春夏連続の全国出場を決めた八幡南ナイン

ボーイズリーグ九州ブロックの過去記事やチーム情報、新聞購読や写真購入方法はスポーツ報知西部本社ウェブサイトにも掲載しています。

▼1回戦

八幡南 410 37
小倉東 102 02
5 15
（5回コールド）
【南】梶原、柴田、内木場―長谷川【小】浦上、萩尾、境―萩尾、古谷▽本塁打＝葉山、管（南）▽三塁打＝福田3、葉山（南）萩尾3（小）

▼2回戦

八幡南 325 2 12
上津役 000 0 0 0
（4回コールド）
【南】管、田中―長谷川【上】平塚、石田、広渡―河原▽本塁打＝松尾（南）▽三塁打＝管2、山本、花元（南）▽二塁打＝山本（南）

▼準決勝

八幡南 000 240 5 11
宇部 000 000 0 0 0
【南】梶原、柴田、内木場―長谷川【宇】薬師寺、守分、磯谷―配川▽本塁打＝管（南）▽二塁打＝花元（南）